



アルザ de シネマ 上映会のご案内

映画「うさぎドロップ」の上映会を開催します。

27歳独身男性、子育て経験ナシのダイキチが、亡き祖父の隠し子である6歳の少女りんを引き取り、必死に育てる姿を描いた心温まる映画です。

出演：松山ケンイチ、芦田愛菜、香里奈、桐谷美玲、風吹ジュン、中村梅雀ほか



©2011「うさぎドロップ」製作委員会

日時：令和3年2月23日（火・祝）13:30～15:30

会場：万代市民会館 6階 多目的ホール

※駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

定員：先着140人

保育：先着15人（生後6か月から就学前まで）

※保育のお申し込みができなかった方は、お子様と一緒に鑑賞できます。

申込：市役所コールセンターへ電話（025-243-4894）

※複数でお申し込みの場合、申込者全員の氏名・住所・連絡先をお聞きします。

締切：令和3年2月5日（金）2/8（月）以降はアルザにいがたで受付

※新型コロナウイルス感染拡大状況により中止や延期をする場合があります。

企画委員 募集中

市民参画のもとで男女共同参画に関する講座を開催するために、講座の企画・運営（内容・講師の検討、講座の準備・司会など）に携わっていただく企画委員を募集しています。

応募対象：市内在住・在学・在勤の18歳以上の方（高校生不可）で、アルザにいがた主催講座に参加したことがある方

任期：1年間 ※上限は10年とします。

保育：あり（対象：生後6か月から就学前まで）

締切：令和3年2月5日（金）必着 締切間近

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



アルザにいがた
ホームページ

情報図書室 司書のオススメ本



彼女の名前は

チヨ ナムジュ／著, 小山内 園子・すみみ／訳
筑摩書房

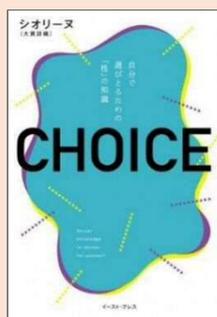
「82年生まれ、キム・ジヨン」著者の自作短編集です。暮らしの中で感じる不条理—セクハラ・パワハラ・差別など—に声をあげ、勇敢に立ち向かう女性たちの姿を28編の物語として描いています。



親になったの私だけ!?

ゆむい／漫画, 耳たぶ吸ってたも〜れ／原作
KADOKAWA

母親に降りかかる妊娠・出産・育児の負担。夫は家事や育児に協力的ではなく頼ることができない…。共働き夫婦が喧嘩してぶつかり合い、そしてお互いを助け合えるようになるまでをリアルに描くコミックエッセイです。



CHOICE 自分で選びとるための「性」の知識

シオリーヌ(大貫 詩織)／著 イースト・プレス

「性の話をもっと気軽にオープンに」を掲げる性教育 YouTuber の著者が、性の基礎知識をマンガやイラストを交えてわかりやすく解説しています。生理や性的同意、女らしさ、男らしさなど様々な疑問に答えています。



家事でモメない部屋づくり

三木 智有／著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

コロナ禍で家族が揃う時間が増え、「家事が増えた!」と不満がたまっていますか? この本は家族が主体的に動く「家事シェアの仕方」と「それを助けるモヨウ替えの仕方」を提案しています。是非家族というチームで家事分担を考えてみませんか?



アルザにいがた情報図書室は、

新潟市立図書館のカードで貸出ができます。

開室時間：月曜～金曜 10:00～17:30

休室：土曜、日曜、祝日、第1水曜、第4月曜、年末年始、蔵書点検期間



男女平等をともにすすめる情報紙

アルザ

「アルザにいがた」は どんな講座をしているの?

～令和2年度の講座をご紹介～

2021. 1月 vol.45

アルザにいがた

発行/新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」
新潟市中央区東万代町 9-1 万代市民会館内
電話：025-246-7713 8:30～17:30 土日祝日を除く
URL: <https://www.city.niigata.lg.jp/kurashi/danjo/alza/>
E-mail: alza@city.niigata.lg.jp



「アルザ」は、「士気を高める」、「高揚」という意味のスペイン語の「alza(アルザ)」が語源。開館5周年の公募で決定、センターが男女共同参画について意識を高める場であってほしいという願いが込められています。また、15周年にはロゴとマークを募集。男女が互いに支え合い笑顔が広がっていくイメージをあらわしています。

アルザにいがた Twitter

講座情報や新着図書情報、職員が日常で感じたジェンダーに関することをつぶやいています。コメントや♡(いいね)、お待ちしております♪

情報紙のご意見・ご感想をお寄せください。アルザにいがたへのEメールはこちらから



follow us!



「アルザにいがた」は どんな講座をしているの？ ～令和2年度の講座をご紹介～

「ほっと一息～わたしのための絵本の時間～」(7/17) 講師：立松有美さん



新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、しばらく中止していた講座を久しぶりに再開しました。
子育て中の方に向け、ジェンダーのこと、子どもとの関係のこと、自分らしさのことを、絵本を通して考えてもらいたいと企画しました。
「元気が出た」「参加者との心の距離が近くなった」などリアルに会って話す喜びを参加者は感じたようでした。

「ジェンダーで社会を考える講座」(12/6・13) 講師：朝倉安都子さん・小池由佳さん

コロナ禍で増加や深刻化したDVや子どもの貧困について、女性のための相談機関「女のスペース・にいがた」代表の朝倉さんと、子ども家庭福祉が専門で新潟県立大学教授の小池さんから実態をお話いただきました。
DVや貧困は、ジェンダーが関係していることを知り、私たちに何ができるのかを考えました。



参加者からは、「実際に活動している講師の話が聴けてよかった」「これからの活動に生かしていきたい」などの感想がありました。

そのほか開催した講座

- ◆DVと虐待～子どもへの影響とケア～ (9/12)
講師：春原由紀さん
- ◆私を受けとめる自分会議
～ライフステージごとに変わる自分を楽しむために～ (10/9・16)
講師：土田陽子さん
- ◆人生100年 仕事後の生き方を考える
～仕事一辺倒からシフトする～ (11/29)
講師：渡邊敏文さん

新潟市男女共同参画推進センター「アルザにいがた」って？ 男女共同参画ってなんだか難しそう。わたしには関係ないかな……と思うかもしれません。
皆さんが抱えている悩みや生きづらさは、もしかしたら、個人の問題でなく、社会的に作り上げられた「女性像」「男性像」といった「ジェンダー」からくるものだとしたら……そんなモヤモヤと一緒に考えていくさまざまな講座を「アルザ」では開催しています。令和3年度の講座もお楽しみに♪

「夫婦で子育て～チーム〇〇家プロジェクト」(10/24・31、11/7) 講師：松山由美子さん・吉田健太さん・眞島貴代子さん



乳幼児のパパが対象の講座ですが、1・3回目は「子どもの不思議～そうだったのか!?発達段階！～」「ワンチーム〇〇家！～夫婦が自分らしくいられる家庭の作り方～」と題し、夫婦で参加してもらいました。久しぶりに夫婦でゆっくり話せたという声が多く聞かれました。



2回目はパパのみの参加で「パパの本音オトコの本音～仕事と家庭の両立とは～」ということで、話し合いました。
講座終了後は、パパ同士連絡先を交換する姿も見られました。

「私を大切にするためのカウンセリング講座」 (11/20・27、12/4・11・18)

講師：NPO 法人 新潟フェミニストカウンセリングセンター まど

アルザにいがた相談室のカウンセラーを講師に迎え、女性が自己肯定感を高めるために毎年開催している講座です。ワークや自己史の作成などを通して、自分も相手も大切にすることを実践的に学びました。

受講したことにより、気づきを得て気持ちが前向きになったという方が多くいらっしゃいました。

令和3年1～3月開催予定講座

- ◆女性のための起業応援セミナー ～ちょっと実践編
「先輩に聞く成功の秘訣」
「ワンシートで描く「起業するならこんなこと」」
- ◆サビない生き方～磨けば輝(ひか)る生涯現役術～
「新聞記事から現代社会を読み解く」
「もっと楽に整える暮らし」
- ◆私へのエール！～今日よりもっと輝く明日へ～
「自分を知ることで自分が好きになる」
「美しい姿勢と歩き方で 変わる私 素敵な明日へ」

活躍する女性をご紹介します⑮

今回は、ケアマネジャーとして独立し、ケアプランセンターを立ち上げたきりかえあつこ切替敦子さんをご紹介します。



【PROFILE】

短大卒業後、歯科衛生士として勤務。結婚により退職し、子育て時期にパート勤務として復職。2000年の介護保険制度創設と共に介護業界へ転職。2009年より医療機関で地域連携業務に携わり、社会福祉士の資格取得。2015年、自宅にて合同会社を設立し、ケアマネジャーとして独立。

■起業したきっかけを教えてください。

ケアマネジャーの仕事をはじめた2001年頃から、いつか経験を積んで、この仕事で独立したいと考えていました。その目標に向かって、幅広い視野で、医療、福祉を学ぶため、病院に転職し、医療ソーシャルワーカーの仕事や地域連携の仕事を経験しました。

子ども達も独立し、「そろそろ、時期かなー」「でも今の仕事をすぐに辞められないなー」と、悶々とした日々を送っていたある日、たまたま目にした「女性向けの起業道場」のチラシに瞬時に心が動いて、すぐに応募しました。この出会いに背中を押されるように、翌年、病院を退職し、起業する運びとなりました。

■起業するときの苦労を教えてください。

事業所を開業するには、市の指定基準を満たす法人でなければいけません。そのため、まず、自宅に会社を設立することが第一歩でした。会社として登記するのに、預金口座を作ろうとしても、何の実績も無い上に、普通の家で、合同会社？と不審に思われ、お断りされたこともあり。自宅を会社にするには、家族の理解、協力も必要です。この点は、皆、協力的で助かりました。

■起業してよかったことを教えてください。

組織に縛られず、自分のやりたいと思うことを実現できるのは、独立型の醍醐味です。ただ、その分、業務量も予想以上に多くなりました。

ケアマネジャー業務に加えて、会社の経理や様々な申請手続き雑務等、独りでこなすには限界があります。そのため、3年後には事務所を移転し、徐々に同志をもつ仲間が増え、現在は5人体制となりました。

起業してから、新たな出会いが多く、多くの職種の方々とつながっていられることが、何よりうれしいです。困った時に相談できる顔がたくさん浮かぶということは、とても心強く、いつも心の支えになっています。周りの方々に、感謝する気持ちを忘れずに、これからも進んでいきたいと思えます。

■これから起業を考えている女性にメッセージを

自分のやりたいことを、ずっと思い続けていると、きっと「今だ！」というタイミングがやってくると思います。「チャンスの女神様は前髪しか無い」と言います。自分を信じて、そのタイミングを逃さず、チャンスをつかんでみるのが大切だと思います。きっと、周りに協力してくださる方や、力を貸してくださる方がいらっしゃいます。大丈夫！独りじゃないですよ。